

令和5年3月4日（土）

# 蟹ヶ谷古墳群現地見学会

主催：川崎市教育委員会  
協力：川崎市古墳発掘調査団（鶴見大学・専修大学文学部・  
日本大学文理学部・多摩川流域遺跡群研究会）

## ごあいさつ

平成24年度から5か年にわたり実施した蟹ヶ谷古墳群の調査研究では、古墳群の測量図面の作成や各古墳の規模が判明するなどの成果を得てきました。

こうした成果をふまえ、川崎市教育委員会では、蟹ヶ谷古墳群の調査を継続してその内容を明らかにするために、川崎市古墳発掘調査団（日本大学文理学部・専修大学文学部・鶴見大学・多摩川流域遺跡群研究会）とともに、平成29年度から発掘調査を進めてきました。

発掘調査の進展のなかでわかった情報を市民の皆様にお知らせするために現地見学会を開催します。

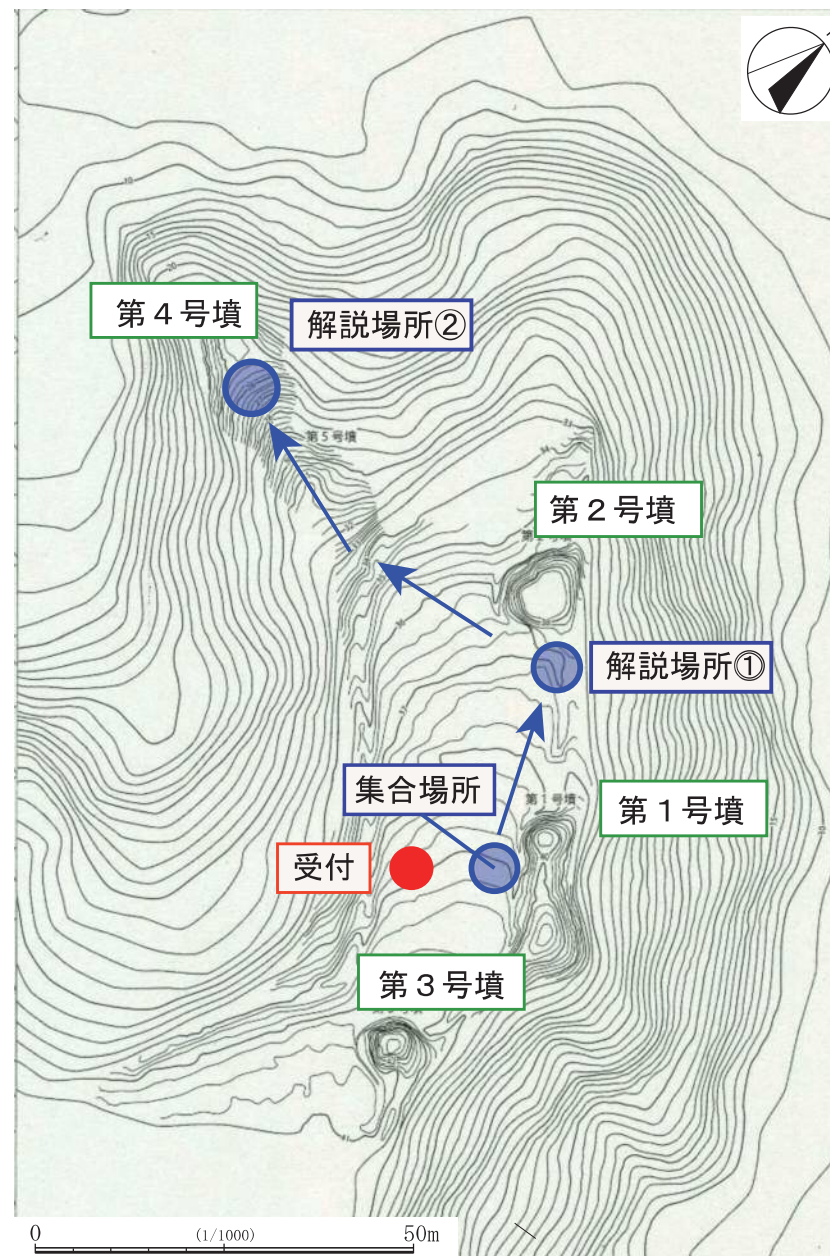
## 蟹ヶ谷古墳群とは

神庭特別緑地保全地区（高津区蟹ヶ谷97-5）内にある古墳群です。平成24年度からの調査により、もとの形や大きさがわからないほど削られた古墳1基（第1号墳）と直径約18mの円墳2基（第2・3号墳）のほかに、須恵器が出土した古墳1基（第4号墳）の、合計4基の古墳があると判断しました。

1号墳は、出土した埴輪の年代から、6世紀後半の古墳時代後期から飛鳥時代初期にかけて築造されたと考えられます。その他の古墳の年代は、現在検討中です。井田・蟹ヶ谷地域を治めた有力者たちが葬られた古墳群です。



第2号墳 出土土師器



## 令和5年度の調査の概要

### 第1号墳

令和4年度の発掘調査により、墳丘の大部分が削平された可能性が高く、墳丘の盛土がわずかしこ残っていませんでした。今年度は測量調査を実施しています。

### 第2号墳

令和4年度の調査では墳丘を墳頂部から断ち割り、埋葬主体部の確認を行いました。確認することができませんでした。第1号墳と同様に上部が削平され、埋葬主体部が残らなかった可能性が高いです。そのため、今年度の調査では、古墳の周囲をめぐる周溝の確認を行い、古墳の規模を調査しています。今年度の調査により、掘削した範囲で周溝と考えられる遺構が確認されましたので、第2号墳の規模が確定できると思われます。

### 第4号墳

過去の調査により、墳頂から須恵器の大甕がつぶれた状態で出土しました。しかし、埋葬部がないことが確認されました。周囲の斜面には横穴墓があることもあり、祭祀を行った場所である可能性が高いです。今年度の調査で掘削を行いました。墳丘の盛土と思われる土層は確認できていません。

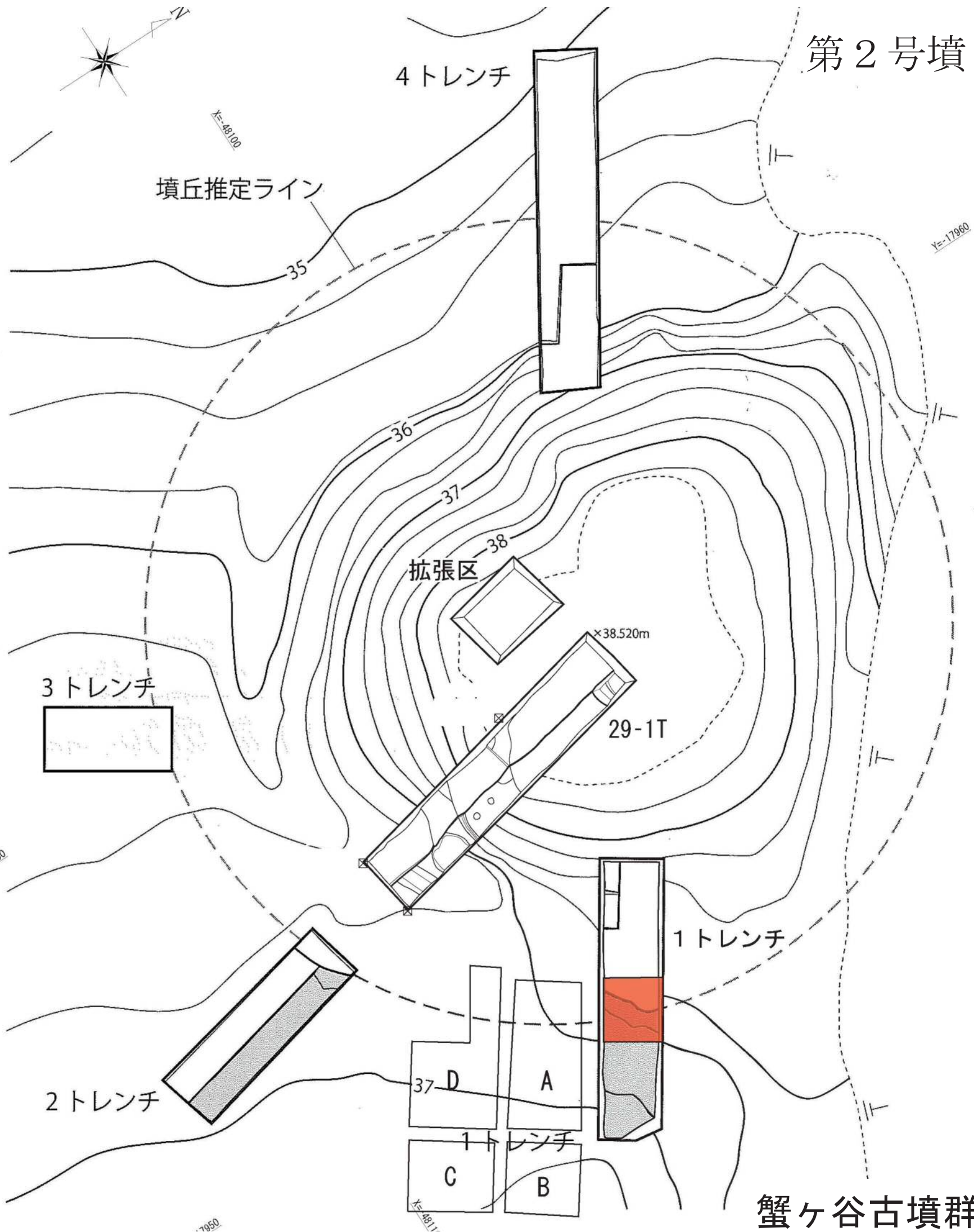
また、4号墳の南側では、竪穴住居跡が確認されています。4号墳との関係について調査を行っています。



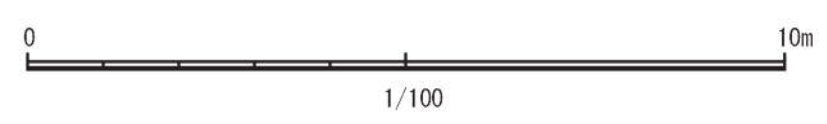
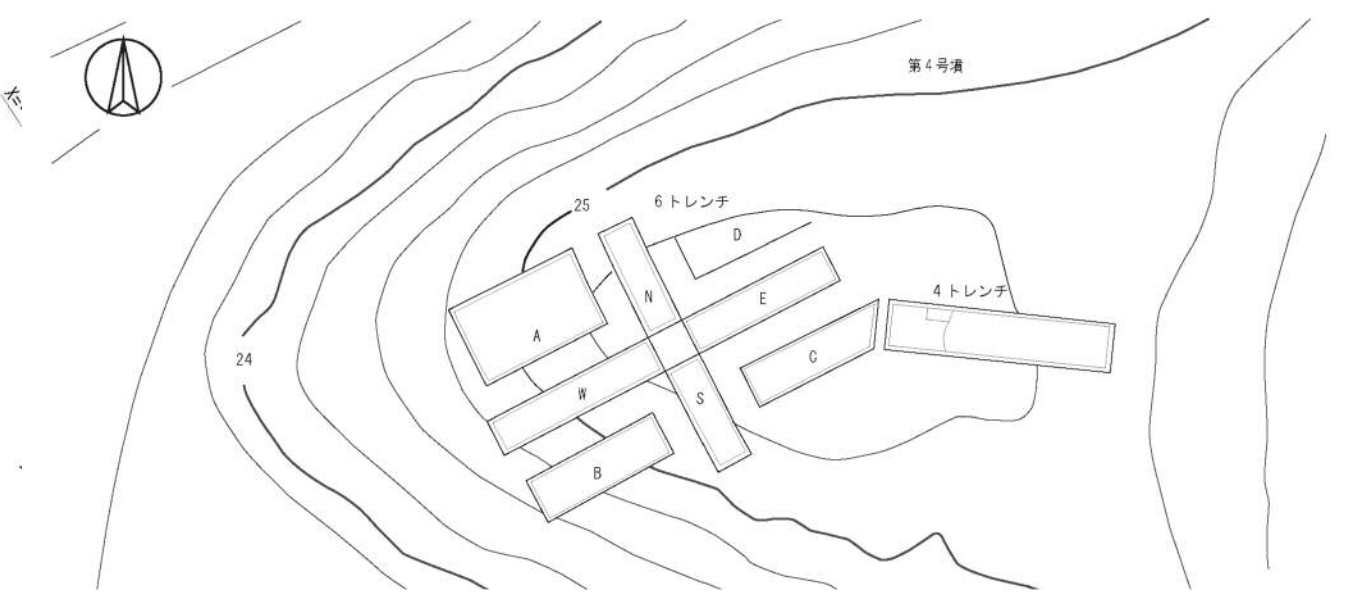
第2号墳 南東から



第4号墳 南西から



第4号墳



蟹ヶ谷古墳群・第2・4号墳